

まちづくり交付金 フォローアップ報告書
十王・若宮地区

平成23年11月

愛知県岡崎市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	健康づくり支援施設利用者数	人/年	38,000	235,000	400,000	確定 見込み ●	○	あり なし	457,000	H23年 6月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	岡崎げんき館の利便性が向上したことに加え、周辺に歩行環境が整えられ、多くの市民により利用されている。
指標2	防災訓練・講習等参加者数	人/年	24,000	120,000	133,000	確定 見込み ●	○	あり なし	140,000	H23年 4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	防災展示コーナーの見学利用に加え、地域防災訓練や、防災施設めぐりなどの防災意識の向上につながる取組みに多くの市民が参加している。
指標3	市民共同イベント参加者数	人/年	3,000	12,000	12,500	確定 見込み ●	○	あり なし	12,300	H23年 4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	岡崎げんきまつりや、岡崎げんき館を核とした市民会議の各種部会により、市民共同でのイベントが継続的に開催され、多くの市民が参加している。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定 見込み				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定 見込み				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	公共空間周辺の歩行空間の充実	・街路樹愛護団体による街路清掃活動への支援	・街路樹の落ち葉の清掃や除草活動に、街路愛護団体の参加を促進している。	・道路清掃等の維持管理について、街路樹愛護団体等の結成を働きかけるなど、市民の参加を引き続き促進する。 ・公共空間周辺の歩行空間の充実化に向け、道路舗装改良事業や公共施設サイン整備、健康づくり推進のための歩行空間形成などを検討する。
	歩行者・自動車動線の整序による道路の安全確保	・まちバスの活用による岡崎げんき館周辺での渋滞対策	・岡崎げんき館周辺での渋滞の原因である、駐車場混雑の対策として、土日のまちバス利用者に割引券を配布するなど、まちバスの利用促進を図っている。また、西駐車場を、土日のまちバスの駐車場として開放している。	・今後も来場者へのまちバスの利用を促す。
	防災施設整備などを活用した、住民主体の防災訓練等の継続的な実施	・若年層の防災展示コーナー見学の積極的な受入れ ・小中学校への防災教育実施の検討 ・自主防災活動組織への説明会の実施	・社会科学習の一環などでの防災展示コーナー見学依頼の積極的な受入れを行い、防災展示コーナーがこれまで以上に活用されている。 ・小中学校を訪問し、防災展示コーナーに展示している映像や資機材を用いた防災教育の実施の検討を進めている。 ・避難所等に設置したデジタル地域防災無線の操作方法説明会を定期的開催し、災害時の効果的な利用について認識を深めている。	・デジタル地域防災無線とJ-ALERTとを接続し、J-ALERTから送られてくる「国民保護情報」等を音声で避難所宛に伝達できるように整備する。
	総合的な健康増進施設の活発な利用	・健康増進施設での四季イベントの実施	・岡崎げんき館運営会社主催による、四季イベントを年4回開催し、健康増進施設を有効活用するとともに、市民会館などの市民共同によるイベントの実施体制が整っている。	・継続的なイベントの開催に向けて支援を実施する。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	安全安心な歩道のネットワーク化の推進	-	-	・安全安心な歩道のネットワーク化の推進に向け、道路舗装改良事業や公共施設サイン整備などを検討する。
	市役所と岡崎げんき館周辺商店街の活性化	・岡崎げんき館で利用できるポイントカードを地域商店街に導入	・岡崎げんき館周辺の商店街での買い物によって貯まるポイントで、岡崎げんき館の健康器具(脳年齢測定等)を無料体験できるような取組みを平成22年度より実施している。平成22年度内で143回の無料利用があった。	・地域商店街と岡崎げんき館の連携を深めるとともに、二十七曲などの歴史性活用事業や空き店舗の活用促進、魅力的な回遊空間となるような道路舗装整備、建物ファサード改修支援の実施を検討する。
	公共施設の防災機能のPR	・若年層の防災展示コーナーの積極的な受入れ	・社会科学習の一環などでの防災展示コーナー見学依頼の積極的な受入れを行った際に、災害対策本部も見学してもらい、災害時の情報収集方法などについて、学習してもらっている。	・今後も機会を捉えて、公共施設の防災機能のPRを行う。
	岡崎げんき館周辺での交通渋滞対策	・まちバス活用による岡崎げんき館周辺での渋滞対策	・岡崎げんき館周辺での渋滞の原因である、駐車場混雑の対策として、土日のまちバス利用者に割引券を配布するなど、まちバスの利用促進を図っている。また、西駐車場を、土日のまちバスの駐車場として開放している。	・今後も来場者へのまちバスの利用を促す。 ・今後の道路混雑状況に応じて、駐車場拡充について検討する。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
防災展示コーナーのフリースペース活用	防災展示コーナーの一部を利用して、各種防災団体の活動などを展示することにより、来訪者に対して、住民主体での防災活動等の理解を深め、自主的な防災活動への機運の醸成を図る。	未定	特定の団体ばかりが活用することの無いように、広く募集を掛ける必要がある。